

サービスご案内資料

夜間の電話に、看護師が応える。

夜間・休日オンコール——24時間365日、看護師が応える応答体制。
介護施設の夜間の不安と、職員の負担を軽くする体制づくりを支えます。

特養・グループホーム・有料老人ホームなど、夜間の電話対応を施設内で抱えている事業者さまへ

PROBLEM

夜間のオンコールが、
管理者と現場を疲れさせていないか。

- 夜間の電話が鳴るたびに、判断を管理者個人に頼っている
- 医療・看護の専門知識を持たない職員が、オンコール待機を担っている
- オンコール負担が重く、看護師・管理者の採用や定着にも影響している
- 夜間の連絡体制と情報共有の仕組みづくりに、手が回らない
- 対応手順の教育・引き継ぎが、個人任せになっている

夜間の体制は、個人の頑張りで支えるものではなく、**仕組みで整えるもの**です。

だから、仕組みで解く。

HOW IT WORKS

役割を分けると、夜は続けられる。

施設からの連絡に看護師が一次対応し、医療が必要な場面は連携医療機関へつなぎます。職員のみなさんが、目の前のケアに集中しやすい体制をつくります。

01

看護師

連絡に一次対応する

夜間・休日の施設からの連絡に、研修を受けた看護師が応えます。定められた手順と基準にもとづき、経過観察・受診のご案内・救急要請の判断支援を行います。

02

医療

連携医療機関が最終判断する

医療上の最終判断は、連携医療機関の医師・医療チームが担います。受診や搬送が必要な場面では、必要に応じて連携医療機関の医師による診療情報提供書の作成など、医療への接続を支えます。

03

施設職員

ケアに集中しやすくする

「夜、誰に相談するか」を決めておくことで、夜勤中の迷いを減らしやすくします。待機の負担を体制に引き取り、人の時間を入居者さまのケアに使いやすくします。

夜間の判断を、ひとりに背負わせない。

相談できる夜を、体制にする。

QUALITY & SAFETY

仕組みが速さを、人が最終判断を。

記録が残る

対応は記録され、あとから振り返ることができます。場当たりの対応にしない土台です。夜間の出来事を、翌朝の申し送りにつなげやすくします。

手順と基準がある

対応の手順と基準を定め、確認の流れを揃え、対応のばらつきを抑えやすくします。誰が受けても、同じ流れで確認しやすくします。

振り返りがある

定期的に対応を見直し、現場と一緒に仕組みを改善し続けます。施設ごとの運用に合わせて、手順を育てていきます。

24時間365日、人が応える。AIは、それを止めない仕組みとして支える。

FLOW

お問い合わせから、運用開始まで。

STEP 01

お問い合わせ

フォームまたはお電話でご連絡ください。現在の夜間体制・お困りごとをお伺いし、担当からご希望の方法でご連絡します。詳しい資料が揃っていない段階でもご相談いただけます。

STEP 02

体制のすり合わせ・お申込み

連絡フロー・対応手順をすり合わせます。施設の約束指示がある場合は、書類をご共有ください。サービス内容をご確認のうえお申込みいただき、あわせて入所者さまの基本情報・既往・申し送り事項などをまとめた利用者情報一覧をご提出いただけます。情報は適切な管理のもとで取り扱います。

STEP 03

運用開始

開始日はご希望に合わせて調整します。導入時のご案内資料とサポート体制をもとに、現場の連絡フローに組み込んでいきます。

STEP 04

運用後の振り返り

開始後も対応記録をもとに振り返り、連絡フローや手順を現場と一緒に見直します。運用上のお困りごとにもご相談いただけます。

詳しい準備は不要です。いま分かる範囲でお聞かせください。状況整理だけのご相談でも構いません。

FAQ

よくあるご質問(抜粋)

Q 医療的な判断は誰が行いますか？

A 医療上の最終判断は、連携医療機関の医師・医療チームが担います。看護師は施設からの連絡に一次対応し、定められた手順と基準にもとづいて、経過観察・受診のご案内・救急要請の判断支援などを行います。

Q 緊急搬送になった場合の連携はどうなりますか？

A 看護師から施設の待機職員への連絡が可能です。受診・搬送がスムーズになるよう、必要に応じて連携医療機関の医師が診療情報提供書(紹介状)を作成します。搬送先の選定は施設の嘱託医の範疇のため、その調整を支援する形になります。

対象施設種別・運用範囲・開始までの進め方は、現在の体制を伺ったうえでご案内します。

夜間の電話対応を、ひとりに背負わせない体制へ。

状況整理だけでも構いません。現在の夜間体制とお困りごとから、まずはお聞かせください。ご相談・お見積りは無料です。

お電話でのご相談(平日9:00-18:00)

03-4400-3511

お問い合わせフォーム

<https://anchor-japan.co.jp/contact.html>